

新東名高速道路 おやま 小山スマートIC
実施計画書



平成25年3月
静岡県小山町

目 次

1. 路線名	2
2. 連結位置及び連結予定施設	3
3. 連結を必要とする理由	4
4. 計画交通量、供用予定時期	5
5. 連結のために必要な工事に要する費用の概算額	6
6. 管理・運営形態	7
7. 管理・運営のために必要な費用の概算額	8
8. 当該IC設置により期待される効果	9
9. 費用便益比（B／C）及び採算性	13
10. 概略図面	14
11. 参考資料、その他必要な資料	21

※小山スマートICは仮称です。

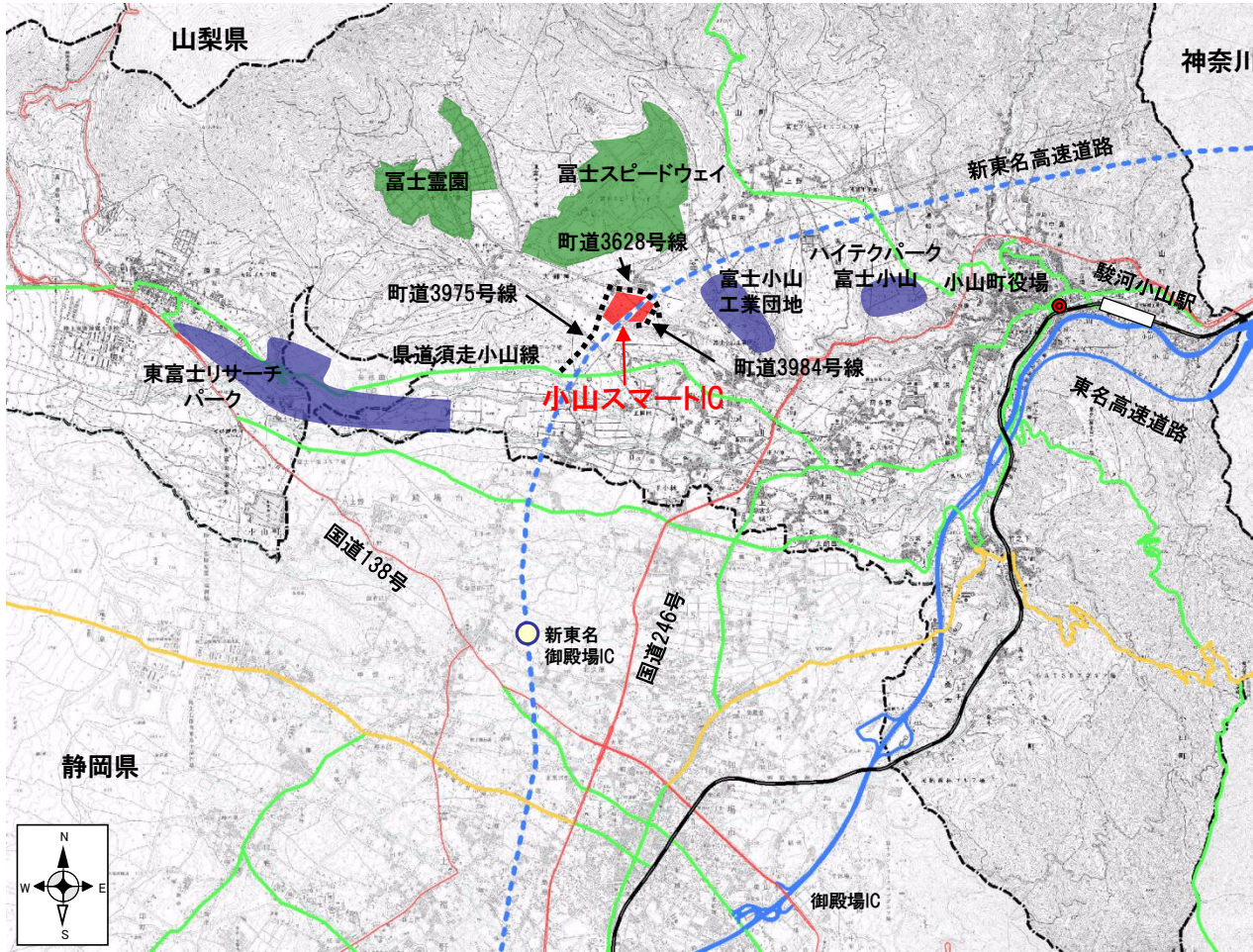
第二東海自動車道 横浜名古屋線(新東名高速道路)



2. 連結位置及び連結予定施設

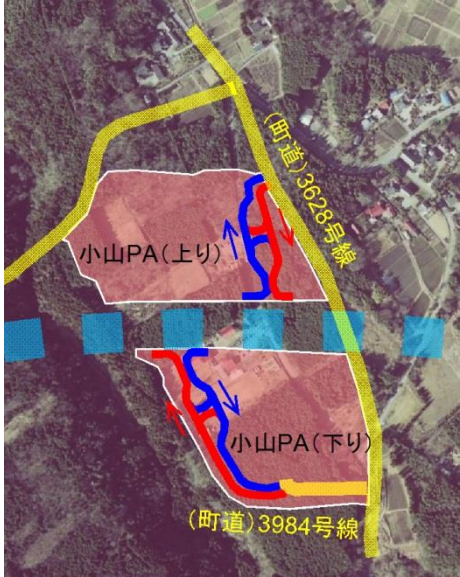
[連結位置] 静岡県駿東郡小山町大御神地内

[連結予定施設] 上り線 町道3628号線
 下り線 町道3984号線



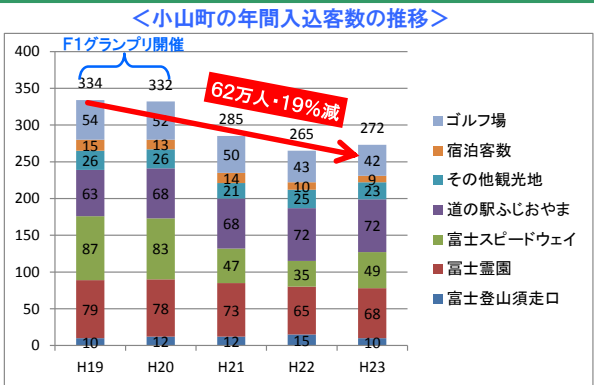
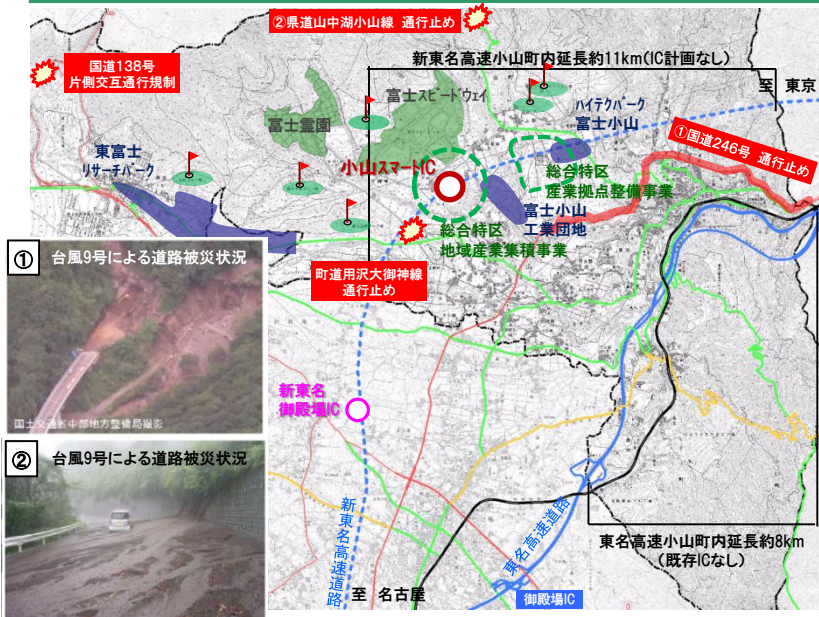
至 東京

スマートIC周辺拡大図

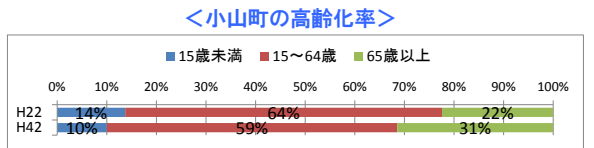


3. 連結を必要とする理由

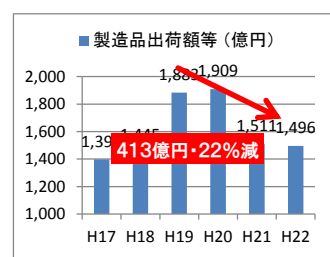
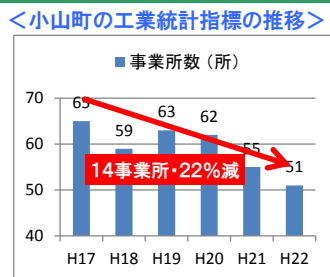
- 小山町には、現在高速道路ICがなく、新東名高速道路にもICの計画がないため、**東京方面からの高速アクセスが悪い。**
- 小山町には富士スピードウェイ、富士霊園の他、11箇所ものゴルフ場などの**観光資源が豊富**であるが、**観光客は年々減少**している。
- 小山町内には**複数の工業団地が立地**しているが、事業所数や製造品出荷額は減少傾向にあり、低迷が続いている。現在、**内陸フロンティアの総合特区事業**として、小山PA周辺における防災・観光拠点の創出に取り組んでいる。
- 小山町は、平成22年の台風9号で、山崩れや河川氾濫により、道路をはじめとする様々なインフラ設備に**甚大な被害**を被った。
- 小山町は、高齢化が進展するとともに、**町内には第三次医療施設がなく**、最寄りの沼津市立病院へは御殿場ICを利用しなければならず、地域医療に課題を抱えている。



出典：各年度観光交流客数調査表、ゴルフ場利用税交付金調べ（小山町）



出典：H22国勢調査、市町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所 H20.12月推計）



出典：工業統計調査（経済産業省）

このような背景から、小山PAへのスマートICの設置は、観光振興による地域活性化、物流網の強化による企業誘致の促進・雇用拡大、災害時の救援・復旧活動の迅速化、救急活動の迅速化の支援など、多面的な効果が期待される。

【小山スマートICの設置により期待される効果】

- 富士スピードウェイや富士霊園、ゴルフ場等への高速道路による**東京方面からアクセス性が向上**するため観光客増加に寄与
- 東京方面への高速道路ICのアクセス性向上により、**既存企業の発展**や**新規企業立地の促進**、**雇用機会の拡大**等の地域活性化、内陸フロンティア総合特区“**地域産業集積事業**”の核として交流人口の増大へ貢献
- 災害時の高速道路から防災拠点への被災の恐れのない**アクセスルートの確保**による**救援、復旧活動の迅速化**の支援
- 高速道路ICへのアクセス性向上により、**高次医療施設への搬送時間短縮**等による**救急・救命活動の迅速化**の支援

4. 計画交通量、供用予定時期

(1) 計画交通量

小山スマートIC計画交通量(平成42年度): 2,800(台/日)

〔推計条件〕

- ・ ODデータ : 平成17年度道路交通センサス将来OD (平成42年度)
- ・ 配分手法 : 高速転換率併用分割配分法
- ・ ETC利用率 : 90%

〔参考〕

- ・ 供用初年度(平成33年度)計画交通量: 2,900(台/日)

(2) 供用予定時期

供用予定時期: 平成33年3月31日を目標とする。

5. 連結のために必要な工事に要する費用の概算額

(1) 概算整備費用

単位: 百万円 消費税5%

項 目	小山町	機構	会社	合計
①工事費	117	511	301	929
土工費	62	102	0	164
舗装費	38	38	0	76
交通管理施設費	0	371	0	371
雑工事費・付帯工費	17	0	0	17
ETC機器、料金機械等	0	0	301	301
②用地及び補償費	24	246	0	270
③間接費	34	113	0	147
合 計	175	870	301	1,346

周辺道路アクセス整備費: 911百万円

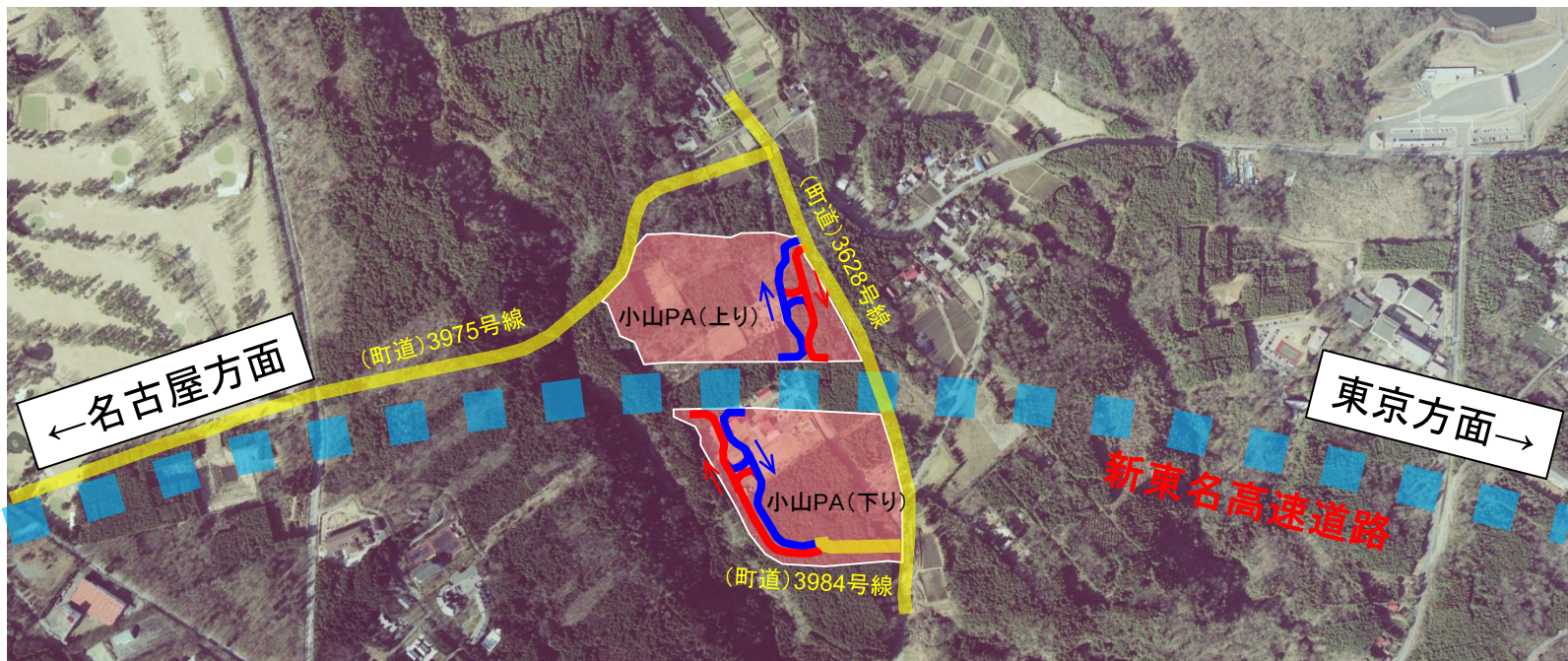
(2) 費用負担の考え方

- ◆小山町
 - ・小山スマートICへの案内標識、誘導看板の設置等を実施し、IC利用者の利便性の向上と周辺道路の誘導経路確保を図る。施工区分は別途施工区分図を参照のこと
- ◆機構(中日本高速道路株式会社施行)
 - ・小山PA用地内の区間において、ETC料金所の整備、監視員詰所の整備等を実施し、IC利用者とPA利用者の安全で円滑な交通処理を図る。施工区分は別途施工区分図を参照のこと
- ◆中日本高速道路株式会社
 - ・ETC機器及び料金機械等の整備を実施する。

6. 管理・運営形態

- | | |
|-------|--|
| ①運営形態 | フルインター形式 |
| ②利用方向 | IN : 東京方面上り線、名古屋方面下り線
OUT : 東京方面上り線、名古屋方面下り線 |
| ③運用時間 | 24時間 |
| ④対応車種 | ETC車載器を搭載した全車種
(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)(全長16.5m以下) |

※当該IC供用後も継続して、その社会便益、安全性、採算性、管理・運営形態について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す。



7. 管理・運営のために必要な費用の概算額

●年間維持管理費内訳（24時間）

（税込み 5 %）

①維持管理費（町道）	3 百万円／年
------------	---------

②営業管理費	4 3 百万円／年
--------	-----------

③維持管理費（N E X C O）	7 百万円／年
-------------------	---------

合 計	5 3 百万円／年
-----	-----------

①維持管理費（町道）は、町道の除草、路面清掃を年あたりとして計算し合算したものを計上

②営業管理費は、E T C監視員（上下線各1人体制）

③維持管理費（N E X C O）は、機器・施設の点検補修費等

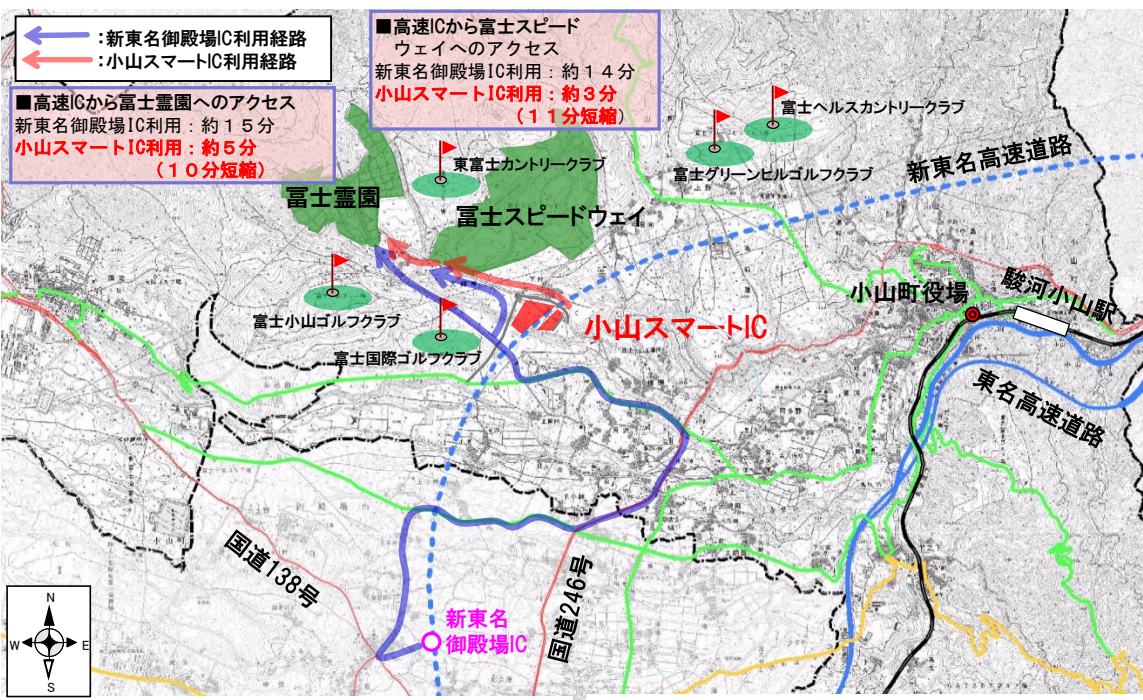
※機器更新費別途

8. 当該IC設置により期待される効果

観光振興～豊富な観光資源と交通利便性を活かした地域の活性化

- 小山スマートICの整備により、高速道路ICから**富士スピードウェイ**や**富士霊園**までが近くなり**アクセス時間が短縮**する。また、**東京方面からのゴルフ場来場客**は、御殿場ICからもどる時間が無くなるため、**余裕を持ってゴルフ場に到着**することが可能となる。
- 新東名高速道開通や国道138号須走道路・御殿場バイパスの整備に加え、スマートIC整備により東京方面から富士山・富士五湖方面への観光交通のアクセスルートがさらに充実する。
- 高速道路の利便性の向上により、豊富な観光資源を活かした地域観光の魅力が向上し、観光客の増加への寄与が期待される。

＜小山町内観光拠点から高速ICへのアクセス＞



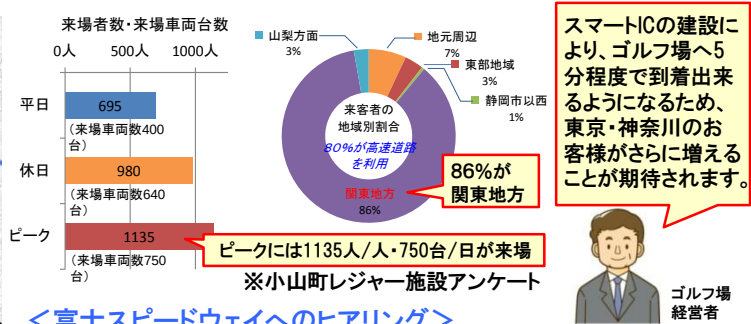
富士霊園～春の観光シーズンには多くの来園者でにぎわう



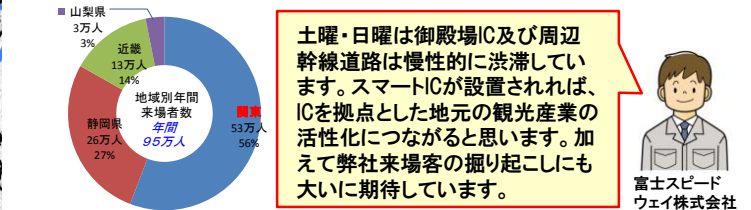
富士スピードウェイ～自動車レース以外でも色々なイベントが催される



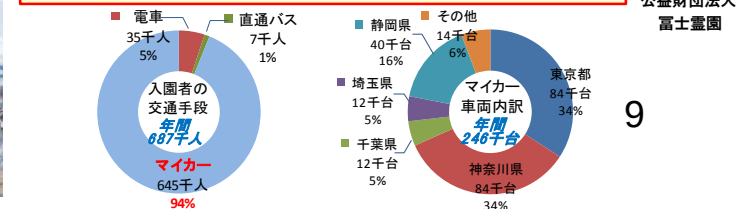
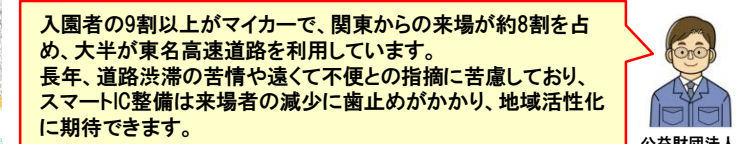
＜周辺5箇所のゴルフ場の来場者の状況・ヒアリング＞



＜富士スピードウェイへのヒアリング＞



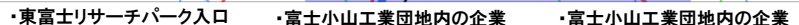
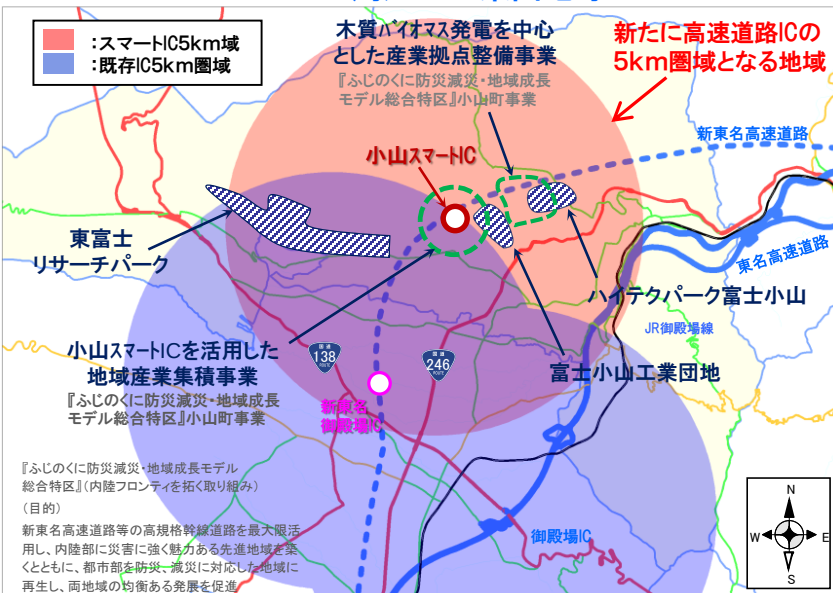
＜富士霊園へのヒアリング＞



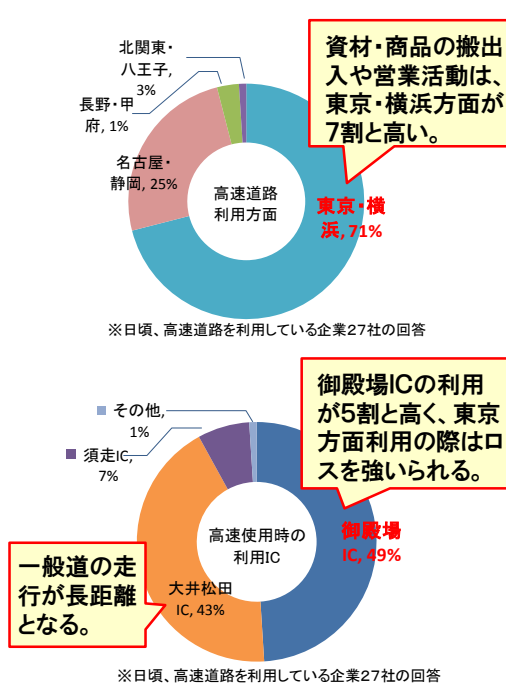
工業振興～物流効率化による工業振興・企業誘致・雇用機会の創出

- 小山町内40社の企業アンケートによれば、高速道路を利用している企業の多くは、東京・横浜方面への利用が約7割と多い。その一方で、高速使用時の利用ICは大井・松田ICの約4割に対し、御殿場ICが約5割であり、多くの車両が東京・横浜方面の利用の際に御殿場ICからもどることによるロスを強いられていることが予想される。
- スマートICの整備により、東京・横浜方面への高速利用の際、御殿場ICからもどることによるロスは解消され、高速道路ICのアクセス性が向上することで物流の効率化が図られ、既存企業の発展や周辺での新規企業立地の促進、雇用機会の拡大といった、地域活性化に寄与することが期待できる。
- 「内陸フロンティアを拓く取組」の総合特区先導的地域づくりモデル事業にて、小山町が位置付ける“小山スマートICを活用した地域産業集積事業”の地場産品販売所や自動車関連製造・販売機能を備えたレース村エリアの拠点として、地域活性化及び交流人口の増大に貢献する。

＜スマート I C 周辺の工業団地等＞

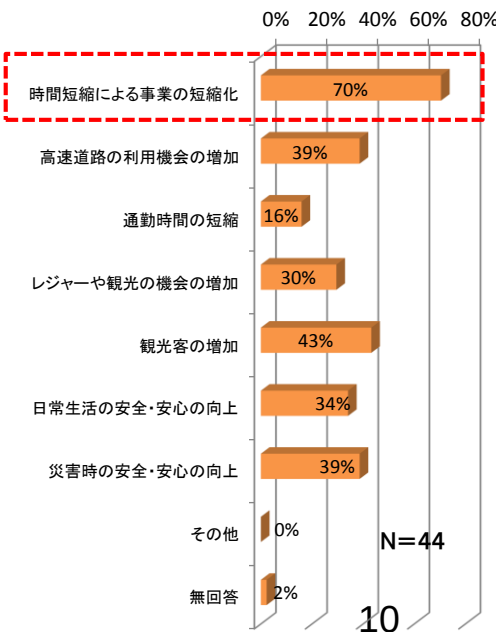


＜小山町内企業アンケート結果＞



Q. スマートIC設置により期待される効果

期待される効果は、時間短縮による事業の効率化が最も多い。



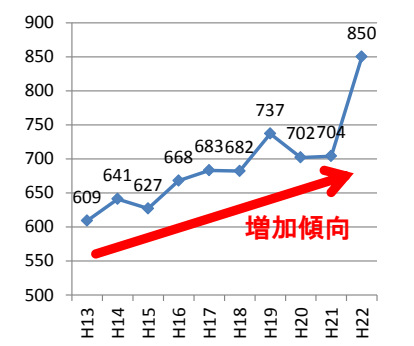
8. 当該IC設置により期待される効果

救急・救命活動の支援～高速道路を利用した第三次医療施設へのアクセス性の向上

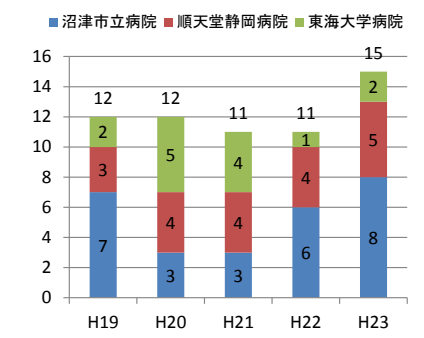
- 小山町内の救急出動件数は年々増加しており、周辺の第三次医療機関への搬送件数も年間10件程度の実績がある。
- 小山スマートICの整備により、第三次医療施設へのアクセス性が向上し、**救急搬送時間の短縮**が図られる。
- また、高速道路の走行距離が増加し、**一般道の走行距離が減少するため、走行性が向上し**、救急搬送時の患者の身体的負担の軽減や、車内における手当のしやすさの向上が期待できる。
- 救急搬送時間の短縮や搬送時の負担の軽減により、救急・救命活動の向上が期待できる。

<第三次医療施設へのアクセス>

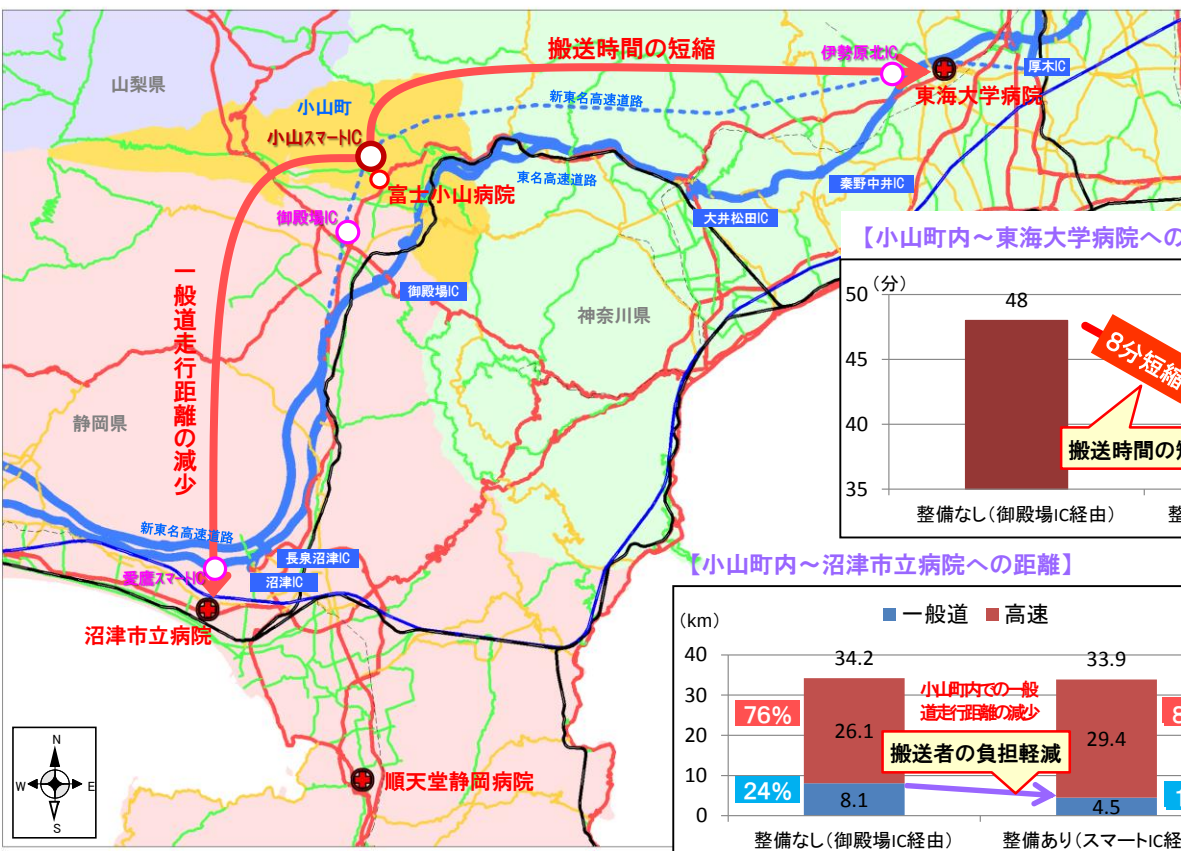
【小山町内の救急出動件数の推移】



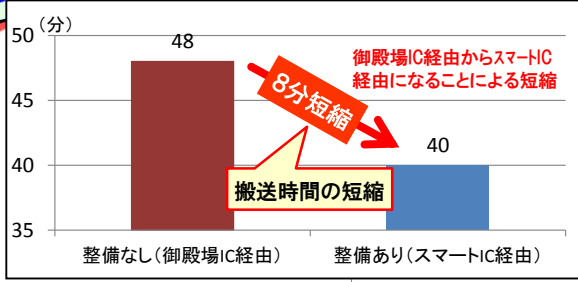
【小山町内から第三次医療機関への搬送件数】



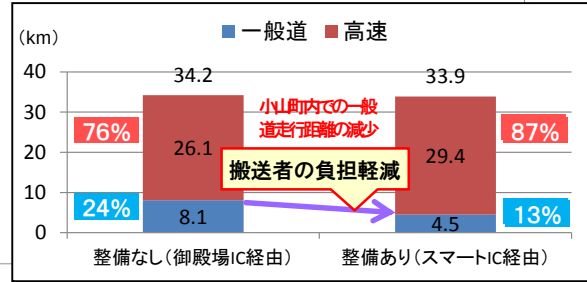
出典:消防年報(御殿場市・小山町広域行政組合消防本部)
:小山消防署ヒアリング結果



【小山町内～東海大学病院への所要時間】



【小山町内～沼津市立病院への距離】

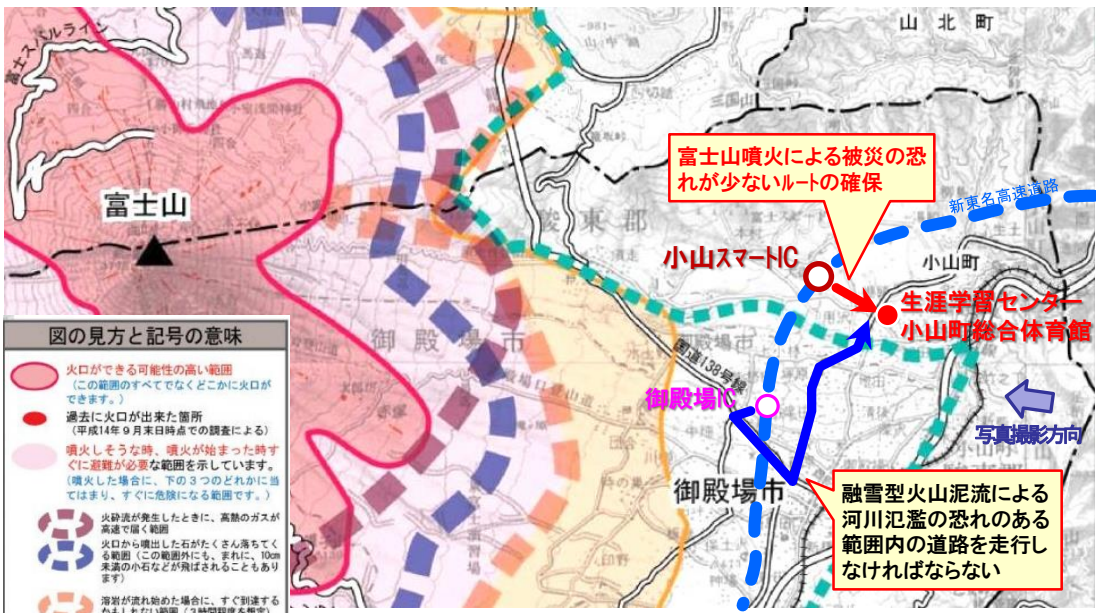


8. 当該IC設置により期待される効果

防災性の向上～高速道路を利用した避難・緊急輸送の迅速化

- 富士山の噴火に備えるための「富士山火山防災マップ」をみると、新東名御殿場ICの計画位置は融雪型火山泥流による河川氾濫の恐れのあるエリア内であり、噴火時にはICとしての機能を果たせなくなる恐れがある。
- 小山町内の生涯学習センターならびに総合体育館は、大規模災害時の自衛隊活動拠点や警察活動拠点ならびに広域避難地に指定されており、これら施設は、町内の基幹的な防災拠点である。
- 小山スマートICの整備により第一次緊急輸送道路となる新東名と防災拠点へのアクセス性が向上し、人命救助、復旧支援の迅速化が期待できる。

<高速道路ICから防災拠点へのアクセス>



【小山町総合体育館での防災訓練の様子】



出典：富士山火山防災マップ（富士山ハザードマップ検討委員会）

【小山町内の防災拠点】

施設名称	用途	面積(m ²)
小山町生涯学習 セタ多目的広場	自衛隊活動拠点	17,514 (敷地)
小山町生涯学習セター	小山町対策本部 (予備)	7,835 (延床)
小山町総合体育館	警察活動拠点・広域避難地	1,750 (延床)

出典：小山町資料

9. 費用便益比(B/C)及び採算性

◆費用便益比(B/C)： 2.3

●便益(B)：51億円(現在価値換算)

- ・ 走行時間短縮便益： 39億円
- ・ 走行費用減少便益： 10億円
- ・ 交通事故減少便益： 2億円

●費用(C)：22億円(現在価値換算)

- ・ 事業費(改築費)： 10億円
- ・ 維持管理費： 12億円

◆採算性

■増収額と管理運営費の比較(平成42年度)

増収額		NEXCO管理運営費
55百万円/年	>	50百万円/年

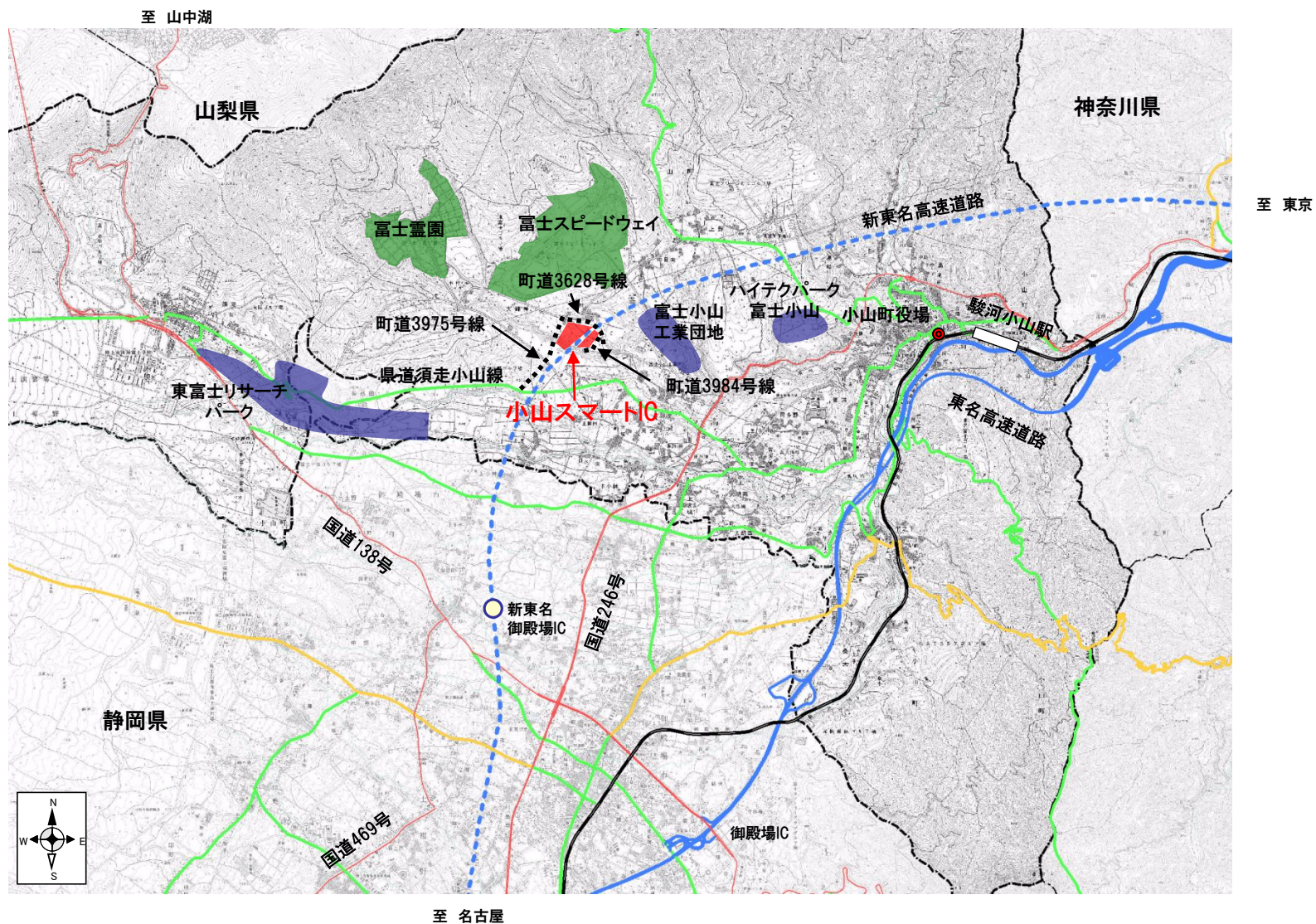
以上のように採算性は確保される。

※ETC利用率90%、ETC割引率32.6%を適用

※供用初年度(平成33年度)増収額：50百万円/年

10. 概略図面

(1) 位置図



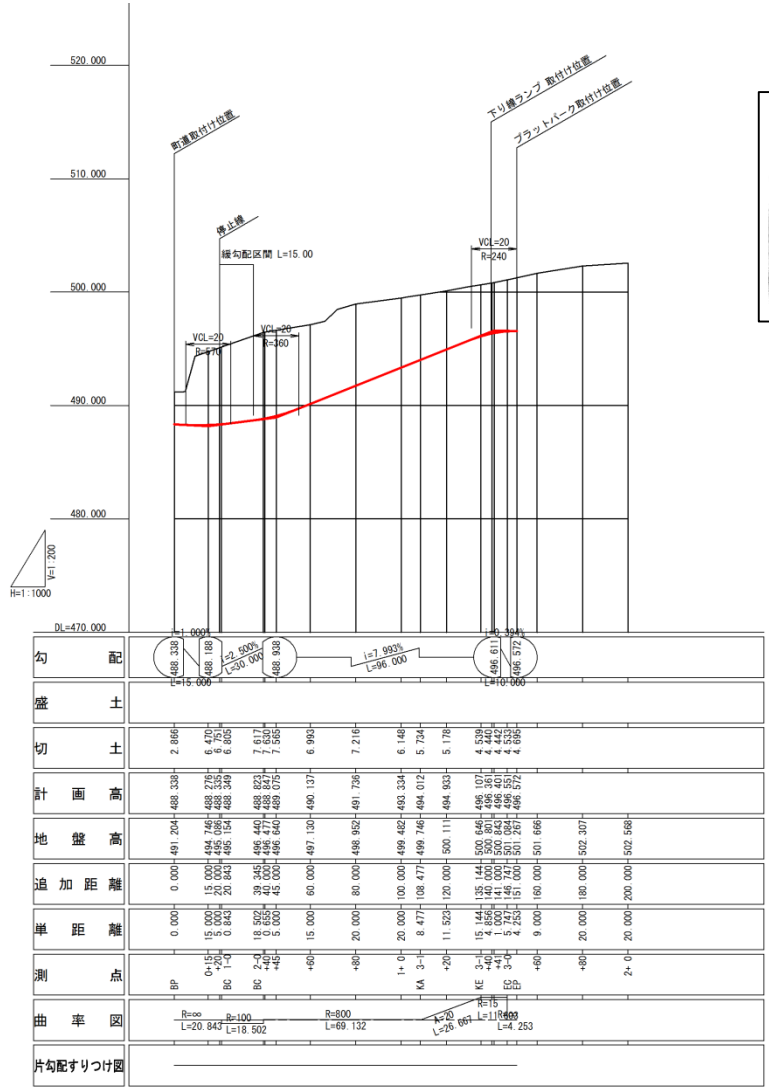
(2) 計画平面図



10. 概略図面

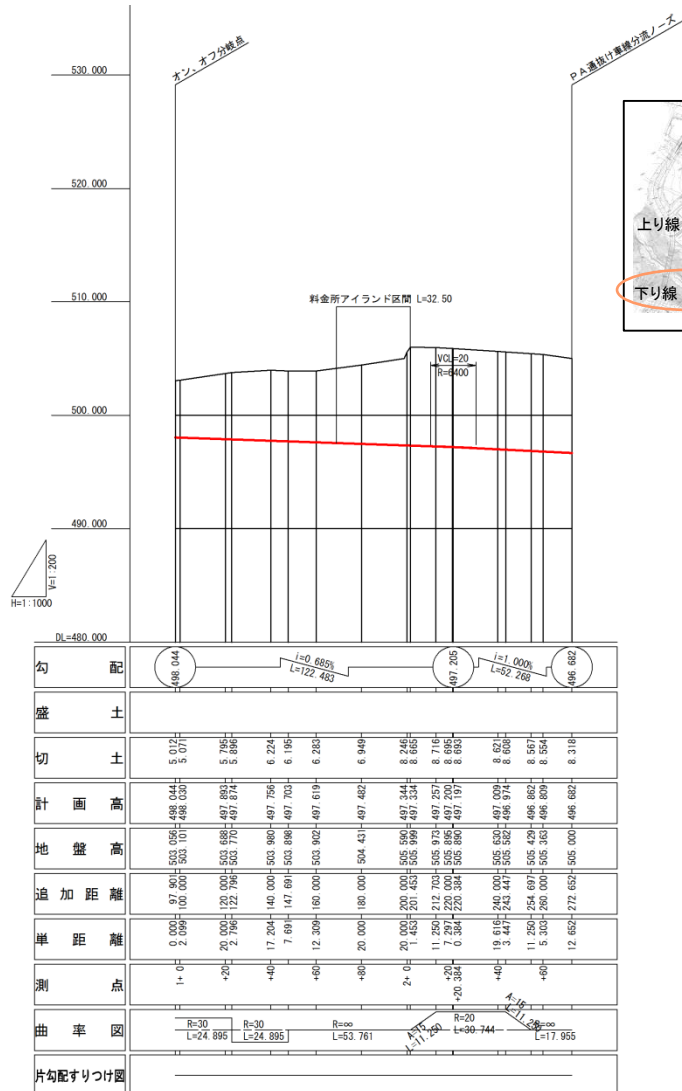
(3) 縦断図

町道3984号線



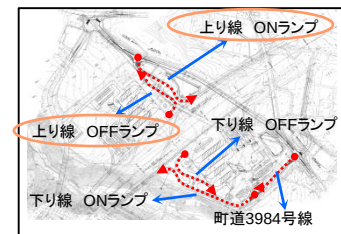
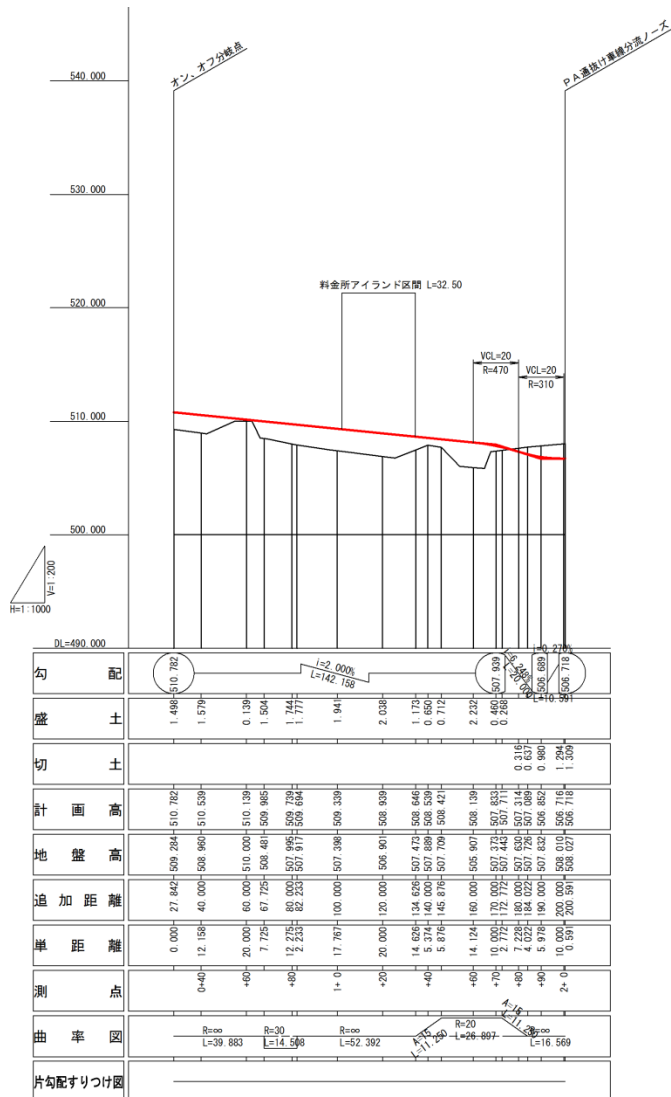
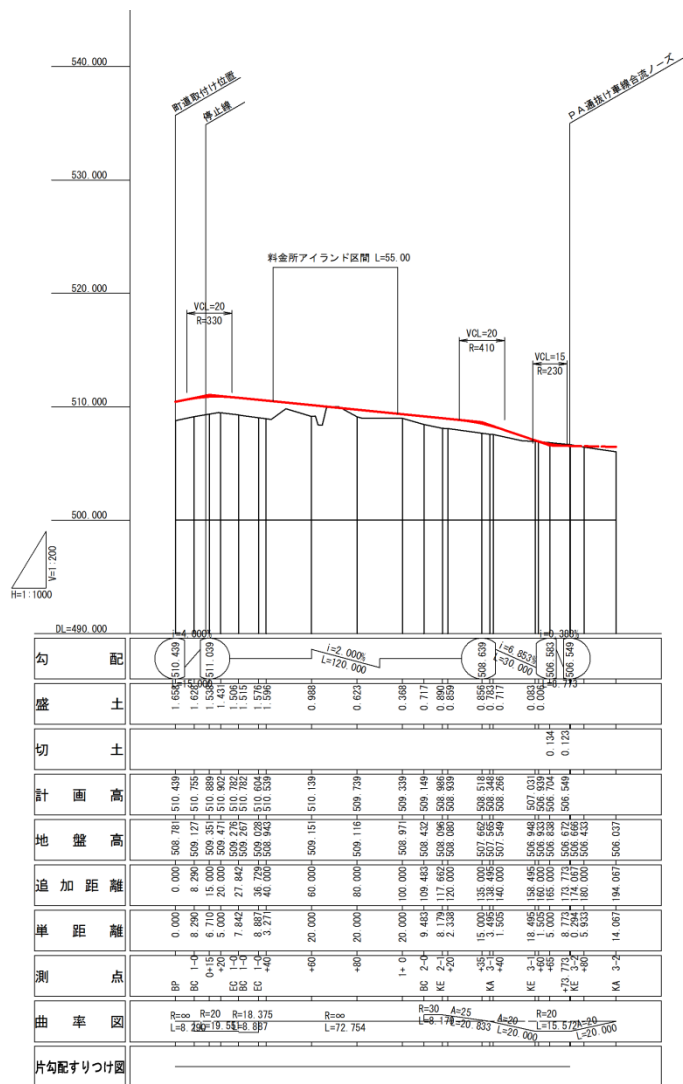
(3) 縦断図

下り線 OFFランプ



(3) 縦断図

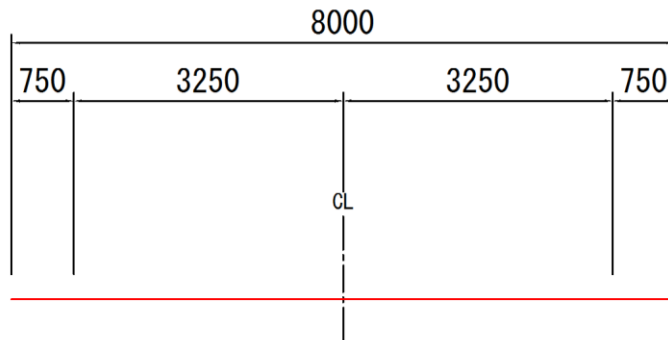
上り線 OFFランプ



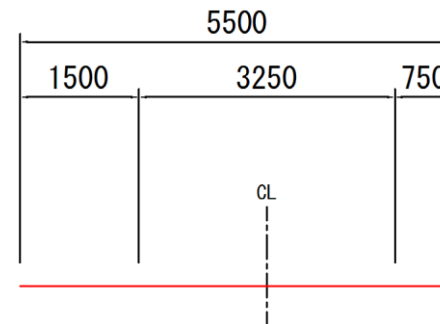
10. 概略図面

(4) 標準幅員

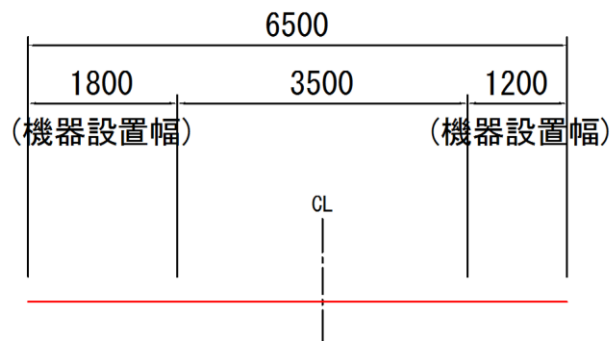
一般部(2方向(非分離)・2車線)



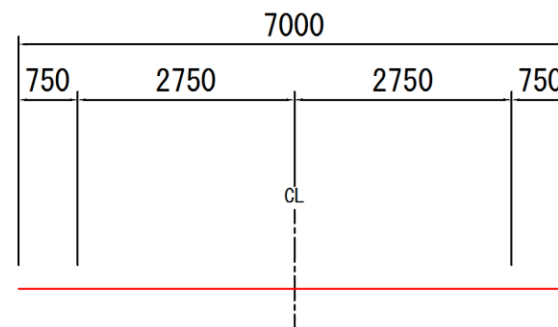
一般部(1方向・1車線)



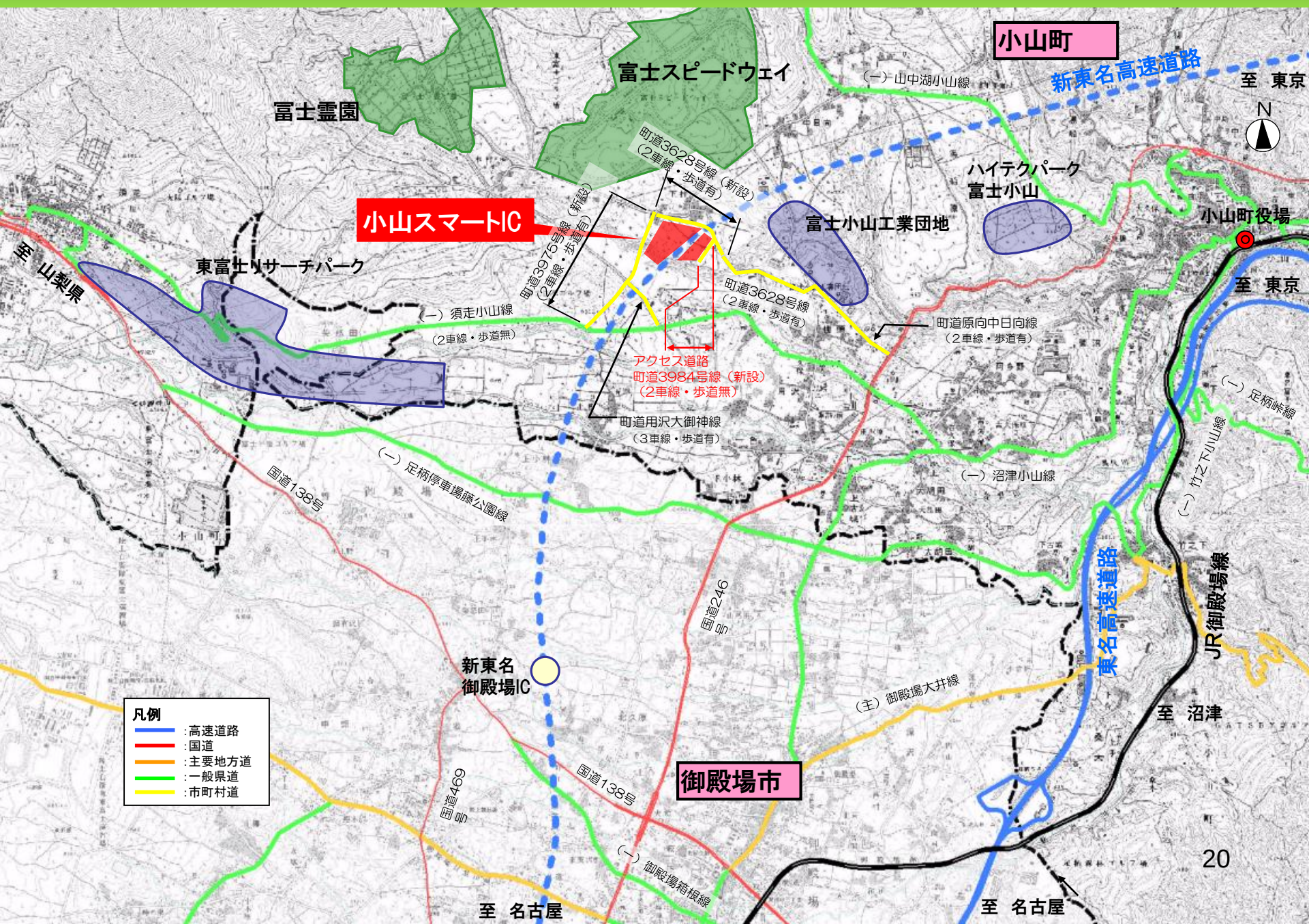
料金所



町道3984号線

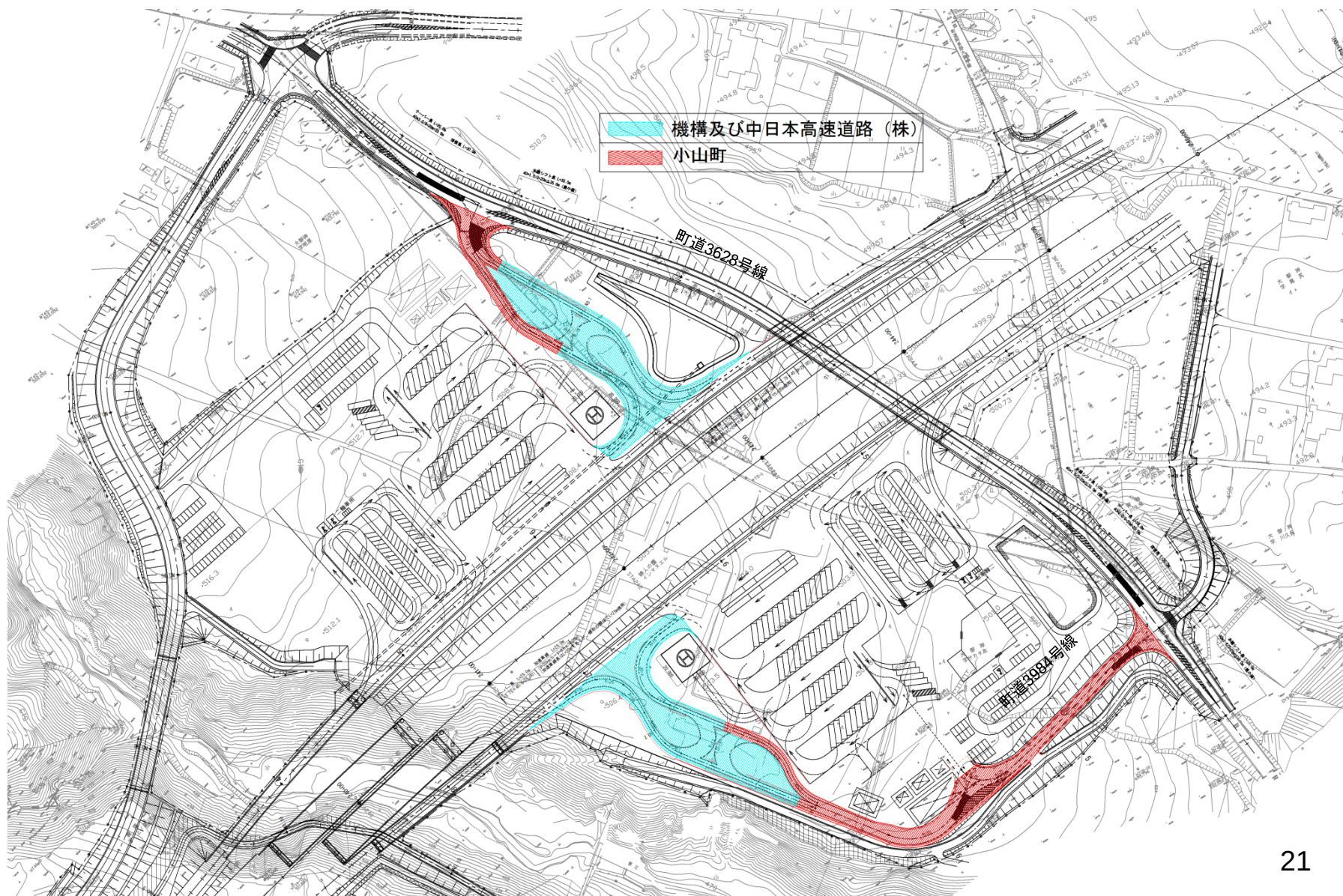


10. 概略図面(アクセス道路計画図)



11. 参考資料、その他必要な資料

(1) 施工・費用負担・管理・財産区分図



11. 参考資料、その他必要な資料

(2)B/C算出根拠（様式2）

様式－2

費用便益分析の結果

③ 結 果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別	費用便益比（事業全体）	2.3
新東名高速道路	小山スマートIC	L＝0.9km	新規	その他	経済的純現在価値（事業全体）	29億円
計画交通量 （台/日）	車線数	事業主体			経済的内部収益率（事業全体）	14.5%
2,800	2	静岡県小山町				

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成24年度		
単純合計	13億円	42億円	55億円
基準年における 現在価値（C）	10億円	12億円	22億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成24年度			
供 用 年	平成33年度			
単年便益 （初年便益）	3億円	0.7億円	0.2億円	3億円
基準年における 現在価値（B）	39億円	10億円	2億円	51億円

(2) B/C算出根拠 (様式4)

樣式—4

費用の現在価値算定表

[illegible]

11. 参考資料、その他必要な資料

(2)B/C算出根拠 (様式5)

様式-5

便益の現在価値算定表

箇所名：小山スマートIC(事業全体)

年次	年度 (基準年)	総走行台数の年次別伸び率 (東海)				割引率 (A)	G D P デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
													乗用車類 小型貨物 普通貨物 ② 計								
		H24	乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)
供用開始年次	H33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.7026	93.8	1.58	0.28	0.73	2.59	1.82	0.35	0.04	0.26	0.65	0.46	0.17	0.12	3.41	2.40
1年目	H34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.6756	93.8	1.58	0.28	0.73	2.59	1.75	0.35	0.04	0.26	0.65	0.44	0.17	0.11	3.41	2.30
2年目	H35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.6496	93.8	1.58	0.27	0.73	2.58	1.68	0.35	0.04	0.26	0.65	0.42	0.17	0.11	3.40	2.21
3年目	H36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.6246	93.8	1.58	0.27	0.73	2.58	1.61	0.35	0.04	0.26	0.65	0.41	0.17	0.10	3.40	2.12
4年目	H37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.6006	93.8	1.58	0.27	0.73	2.58	1.55	0.35	0.04	0.26	0.65	0.39	0.17	0.10	3.40	2.04
5年目	H38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.5775	93.8	1.58	0.27	0.73	2.58	1.49	0.36	0.04	0.26	0.65	0.38	0.17	0.10	3.40	1.97
6年目	H39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.5553	93.8	1.59	0.27	0.73	2.58	1.43	0.36	0.04	0.26	0.65	0.36	0.17	0.09	3.40	1.88
7年目	H40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.5339	93.8	1.59	0.26	0.73	2.58	1.38	0.36	0.04	0.26	0.65	0.35	0.17	0.09	3.40	1.82
8年目	H41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.5134	93.8	1.59	0.26	0.73	2.58	1.32	0.36	0.04	0.26	0.65	0.33	0.17	0.09	3.40	1.74
9年目	H42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.4936	93.8	1.59	0.26	0.73	2.58	1.27	0.36	0.04	0.26	0.65	0.32	0.17	0.08	3.40	1.67
10年目	H43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.4746	93.8	1.58	0.26	0.73	2.57	1.22	0.35	0.04	0.26	0.65	0.31	0.17	0.08	3.38	1.61
11年目	H44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.4564	93.8	1.56	0.26	0.73	2.55	1.17	0.35	0.03	0.26	0.65	0.30	0.16	0.08	3.36	1.55
12年目	H45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.4388	93.8	1.55	0.25	0.74	2.54	1.11	0.35	0.03	0.26	0.64	0.28	0.16	0.07	3.35	1.46
13年目	H46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.4220	93.8	1.54	0.25	0.74	2.53	1.07	0.34	0.03	0.26	0.64	0.27	0.16	0.07	3.33	1.41
14年目	H47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.4057	93.8	1.53	0.25	0.74	2.52	1.02	0.34	0.03	0.26	0.64	0.26	0.16	0.07	3.32	1.35
15年目	H48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.3901	93.8	1.51	0.25	0.74	2.50	0.98	0.34	0.03	0.26	0.64	0.25	0.16	0.06	3.30	1.29
16年目	H49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.3751	93.8	1.50	0.25	0.74	2.49	0.93	0.34	0.03	0.26	0.63	0.24	0.16	0.06	3.29	1.23
17年目	H50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.3607	93.8	1.49	0.25	0.74	2.48	0.89	0.33	0.03	0.27	0.63	0.23	0.16	0.06	3.27	1.18
18年目	H51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.3468	93.8	1.48	0.24	0.75	2.47	0.86	0.33	0.03	0.27	0.63	0.22	0.16	0.05	3.25	1.13
19年目	H52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.3335	93.8	1.46	0.24	0.75	2.45	0.82	0.33	0.03	0.27	0.63	0.21	0.16	0.05	3.24	1.08
20年目	H53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3207	93.8	1.45	0.24	0.75	2.44	0.78	0.33	0.03	0.27	0.63	0.20	0.16	0.05	3.22	1.03
21年目	H54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.3083	93.8	1.44	0.24	0.75	2.43	0.75	0.32	0.03	0.27	0.62	0.19	0.15	0.05	3.21	0.99
22年目	H55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.2965	93.8	1.43	0.24	0.75	2.42	0.72	0.32	0.03	0.27	0.62	0.18	0.15	0.05	3.19	0.95
23年目	H56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.2851	93.8	1.41	0.24	0.75	2.40	0.69	0.32	0.03	0.27	0.62	0.18	0.15	0.04	3.18	0.91
24年目	H57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.2741	93.8	1.40	0.23	0.76	2.39	0.66	0.31	0.03	0.27	0.62	0.17	0.15	0.04	3.16	0.87
25年目	H58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.2636	93.8	1.39	0.23	0.76	2.38	0.63	0.31	0.03	0.27	0.61	0.16	0.15	0.04	3.14	0.83
26年目	H59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.2534	93.8	1.38	0.23	0.76	2.37	0.60	0.31	0.03	0.27	0.61	0.15	0.15	0.04	3.13	0.79
27年目	H60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2437	93.8	1.37	0.23	0.76	2.36	0.57	0.31	0.03	0.27	0.61	0.15	0.15	0.04	3.11	0.76
28年目	H61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2343	93.8	1.35	0.23	0.76	2.34	0.55	0.30	0.03	0.27	0.61	0.14	0.15	0.03	3.10	0.72
29年目	H62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2253	93.8	1.34	0.23	0.76	2.33	0.53	0.30	0.03	0.27	0.60	0.14	0.15	0.03	3.08	0.70
30年目	H63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2166	93.8	1.33	0.22	0.77	2.32	0.50	0.30	0.03	0.27	0.60	0.13	0.15	0.03	3.07	0.66
31年目	H64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2083	93.8	1.32	0.22	0.77	2.31	0.48	0.29	0.03	0.27	0.60	0.12	0.15	0.03	3.05	0.63
32年目	H65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.2003	93.8	1.30	0.22	0.77	2.29	0.46	0.29	0.03	0.27	0.60	0.12	0.14	0.03	3.03	0.61
33年目	H66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.1926	93.8	1.29	0.22	0.77	2.28	0.44	0.29	0.03	0.27	0.59	0.11	0.14	0.03	3.02	0.58
34年目	H67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.1852	93.8	1.28	0.22	0.77	2.27	0.42	0.29	0.03	0.27	0.59	0.11	0.14	0.03	3.00	0.56
35年目	H68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.1780	93.8	1.27	0.22	0.77	2.26	0.40	0.28	0.03	0.28	0.59	0.10	0.14	0.03	2.99	0.53
36年目	H69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.1712	93.8	1.25	0.21	0.78	2.24	0.38	0.28	0.03	0.28	0.59	0.10	0.14	0.02	2.97	0.50
37年目	H70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.1646	93.8	1.24	0.21	0.78	2.23	0.37	0.28	0.03	0.28	0.58	0.10	0.14	0.02	2.96	0.49
38年目	H71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1583	93.8	1.23	0.21	0.78	2.22	0.35	0.28	0.03	0.28	0.58	0.09	0.14	0.02	2.94	0.46
39年目	H72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1522	93.8	1.22	0.21	0.78	2.21	0.34	0.27	0.03	0.28	0.58	0.09	0.14	0.02	2.93	0.45
40年目	H73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1463	93.8	1.21	0.21	0.78	2.20	0.32	0.27	0.03	0.28	0.58	0.08	0.14	0.02	2.91	0.42
41年目	H74	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1407	93.8	1.19	0.21	0.78	2.18	0.31	0.27	0.03	0.28	0.57	0.08	0.14	0.02	2.89	0.41
42年目	H75	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1353	93.8	1.18	0.21	0.79	2.17	0.29	0.26	0.03	0.28	0.57	0.08	0.13	0.02	2.88	0.39
43年目	H76	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1301	93.8	1.17	0.20	0.79	2.16	0.28	0.26	0.03	0.28	0.57	0.07	0.13	0.02	2.86	0.37
44年目	H77	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1251	93.8	1.16	0.20	0.79	2.15	0.27	0.26	0.03	0.28	0.57	0.07	0.13	0.02	2.85	0.36
45年目	H78	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1203	93.8	1.15	0.20	0.79	2.14	0.26	0.26	0.03	0.28	0.57	0.07	0.13	0.02	2.83	0.35
46年目	H79	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1157	93.8	1.13	0.20	0.79	2.13	0.25	0.25	0.03	0.28	0.56	0.07	0.13	0.02	2.82	0.34
47年目	H80	0.98956	0.99214	1.00204	0.99263	0.1112	93.8	1.12	0.20	0.79	2.11	0.24	0.25	0.03	0.28	0.56	0.06	0.13	0.01	2.80	0.31
48年目	H81	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1069	93.8	1.11	0.20	0.79	2.10	0.22	0.25	0.03	0.28	0.56	0.06	0.13	0.01	2.79	0.29
49年目	H82	0.98942	0.99206	1.00204	0.99255	0.1028	93.8	1.10	0.19	0.80	2.09	0.21	0.25	0.03	0.28	0.56	0.06	0.13	0.01	2.77	0.28
合 計								69.25	11.70	37.89	118.84	38.64	15.52	1.60	13.49	30.61	9.86	7.54	2.48	156.99	50.98

(3) 小山町周辺用途地域図



11. 参考資料、その他必要な資料

(4) “ふじのくに”防災減災・地域成長モデル総合特区(内陸フロンティアを拓く取組)

<総合特区事業推進計画の概要>

■総合特区事業推進計画の目標

食品関連産業と自動車関連産業を新東名高速道路(仮称)小山PA周辺に集積し、有事におけるPAと連携した防災拠点を創出するとともに、山梨県の富士五湖周辺や箱根・強羅周辺の観光エリアを連携することで、企業と町の相互連携によるビジネス観光拠点を創出する。

森林資源の伐採・搬出・加工・発電、電力小売までを一連のスキームとする一貫した体制づくりとともに、持続可能な資源循環型林業の構築を進め、有事のいとも電力供給が可能な災害に強い再生可能エネルギー拠点を形成する。

■実施期間

平成25年～平成29年

(1)小山パーキングエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業

■実施区域:小山町棚頭・大御神地区、上野

平成32年に新東名高速道路(仮称)小山PAが設置されることに合わせ、上下線に併設型のスマートICを設置するとともに、周囲に地場産品販売所等を設置・集積し、地域産業の活性化を図る。

パーキングエリアに隣接する富士スピードウェイを活用した多様なイベントの展開と、自動車関連用品製造・販売機能等を備えたレース村エリアの創出により交流人口の増加を図る。

(2)木質バイオマス発電を中心とした産業拠点整備事業

■実施区域:上野・湯船原地区

新東名高速道路への交通アクセスを活かし、湯船原地区地域の森林資源を活用する木質バイオマス発電所を中心とした工業団地を造成する。

工業団地において、有事における電力供給の仕組みを構築し、持続可能な分散自立型の地域づくりを実現する。

<小山町 総合特区 先導的地域づくりモデル の概要>

総合特区 先導的地域づくりモデル ③小山町

富士山麓における地域産業の振興とバイオマス活用拠点の形成

実施する事業

- ①小山パーキングエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業
- ②木質バイオマス発電を中心とした産業拠点整備事業

規制の特例措置等の提案

- ①土地利用規制に関する国との一括事前協議制度の創設
- ②災害時、新エネルギーで発電した電力の供給先に関する規制緩和
- ③木質バイオマス発電に利用する森林資源の廃棄物扱い除外に関する規制の緩和
- ④木質バイオマスの燃焼利用に関する規制の緩和
- ⑤災害時に避難地や物資供給拠点としての協力協定の締結等した企業立地に対する新規立地促進規制
- ⑥災害時に避難地や物資供給拠点としての協力協定の締結等した企業立地に対する設備等の増設償却制度の適用要件の緩和
- ⑦農業と連携する食品産業や環境産業、物流産業等の企業立地に対する商品開発等に係る研究開発税制の特例
- ⑧総合特区計画の推進に資する事業(農業と連携する食品産業や環境産業、物流産業等の企業が実施する事業)に必要な資金に対する利子補給金

地域資源

- ・富士山麓とともに発展してきた産業は、現在富士小山工業団地などの工業団地が中心となっている。
- ・JR御殿線と小田急線の相互乗り入れにより、新宿駅に直結などの交通利便性を有している。
- ・モータースポーツのメッカである富士スピードウェイや富士公園など、都市との交流拠点のほか、温泉会館や東名高速道路足柄サービスエリア等がある。

地域の責任ある関与

- ・小山町経営戦略会議(H24～)



<小山パーキングエリア・スマートICを活用した地域産業集積事業 土地利用計画>

小山町スマートインター周辺土地利用計画 小山町 2012.11.07.

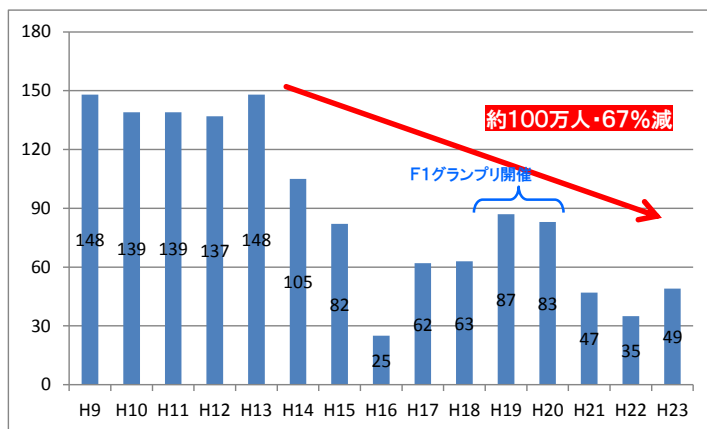


11. 参考資料、その他必要な資料

(5) 富士スピードウェイの概要

- 昭和41年にオープンし、富士山をバックに走るわが国最大のレーシングコース
- 平成19年、20年には『F1グランプリ』を開催
- 新設のトヨタ交通安全センター(モビリティ)では、個人や企業、団体向けの体験型ドライビングスクールを実施
- 平成23年度の観光客は、約49万人で、ピーク時と比べ、約100万人(67%)減少

＜富士スピードウェイの年間入込客数の推移＞

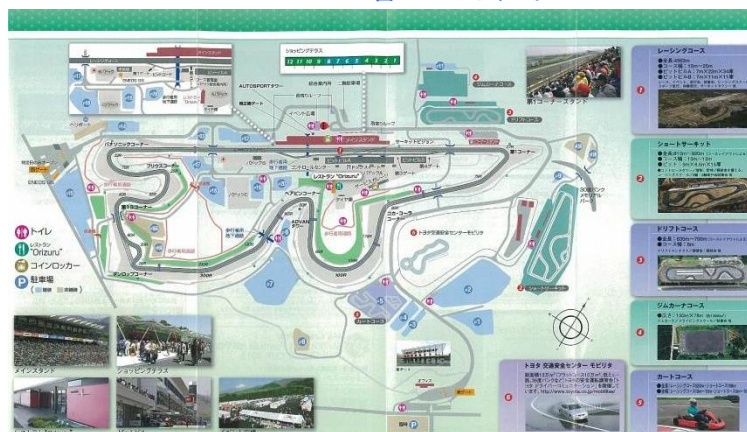


出典:各年度観光交流客数調査表(小山町)

＜富士スピードウェイの位置＞



＜富士スピードウェイ＞



カートコースを始め、
様々な体験施設が
楽しめる

スーパー耐久シリーズ(TEC)やフォー
ミュラ・ニッポンを始め、土曜・日曜日を
中心に、43日間、
レースやイベントを
開催(2012年実績)



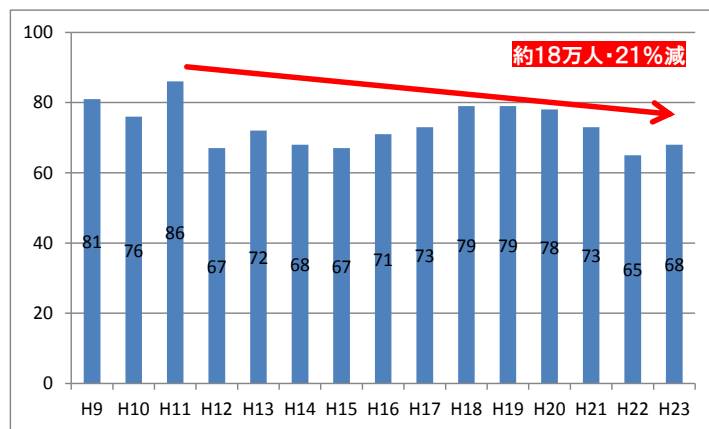
写真提供)富士スピードウェイ株式会社

11. 参考資料、その他必要な資料

(6) 富士霊園の概要

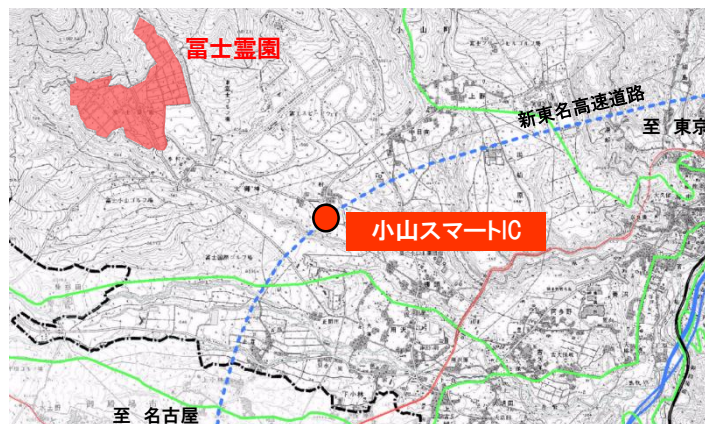
- 昭和40年に開園し、首都圏を中心に64,000強の墓所貸付を実施
- 富士山麓の花と緑に囲まれた敷地面積230haの公園墓地で、桜の名所として有名(日本さくら名所100選)
- 行楽シーズンには、東名高速道路上での渋滞がマンネリ化(当該スマートICによる渋滞改善に期待)
- 平成23年度の観光客は、約68万人で、ピーク時と比べ、約18万人(21%)減少

<富士霊園の年間入込客数の推移>

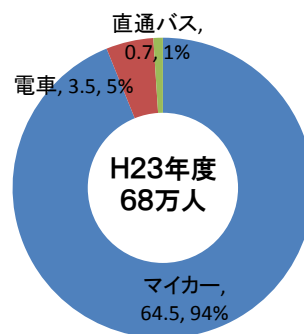


出典:各年度観光交流客数調査表(小山町)

<富士霊園の位置>

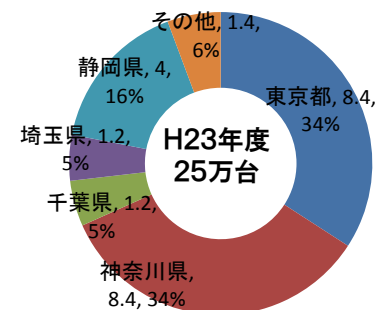


<入園者内訳>



入園者の94%がマイカー利用

<マイカー利用内訳>



静岡県を除く21万台(84%)が
県外利用者であり、(90%弱)が
東名高速道路を利用



行楽シーズンには多くの
観光客で賑わう

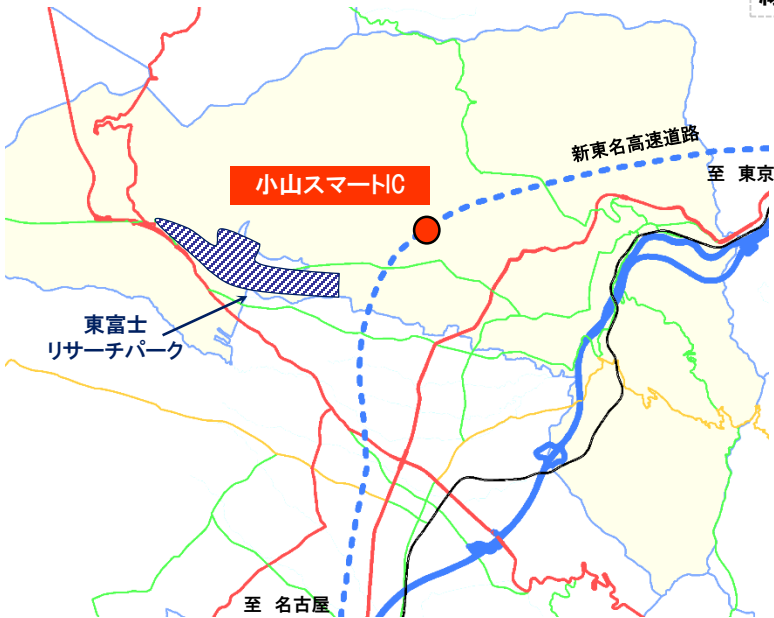
11. 参考資料、その他必要な資料

(7) 東富士リサーチパークの概要

開発面積約150万㎡の敷地に造られた最先端技術開発、基礎研究所、ハイテク流通、無公害生産体制、研修所・保養所等の多種多様な分野の企業や情報の集積を目指した地区である。

事業規模に柔軟に応じられる区画バリエーション、整備されたセキュリティ・インフラ、緑豊かな敷地などにより、快適なビジネス環境を創出している。

面積: 1,498,575㎡
用途: 研究所、研修所、保養所及び これに付帯する施設
交通: 東名高速道路御殿場インターより車で15分
中央自動車道河口湖経由東富士五湖道路須走インターより車で5分
JR御殿場線(小田急ロマンスカー乗入れ)「御殿場」駅より車で15分



凡例

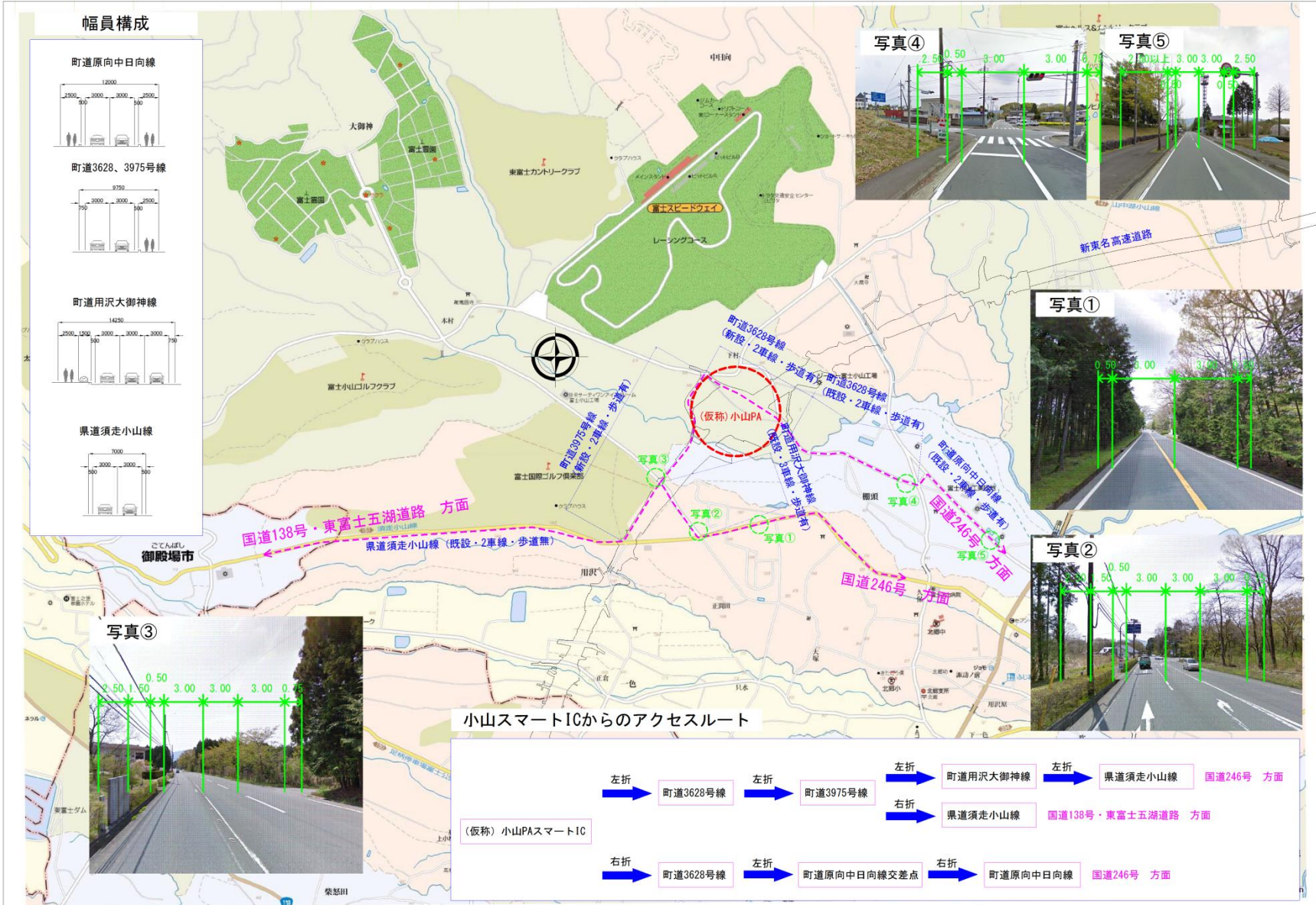
色別	区分
[Yellow]	研究所・研修用地
[Pink]	センター用地
[Light Green]	公園
[Blue]	道 路
[Light Blue]	公共・公益用地
[Dark Blue]	調整池等
[Green]	自然緑地
[Purple]	神社
[Red Dashed]	市町村境界線
[Blue Dashed]	送電線

販売区画
★建物建築済区画



11. 参考資料、その他必要な資料

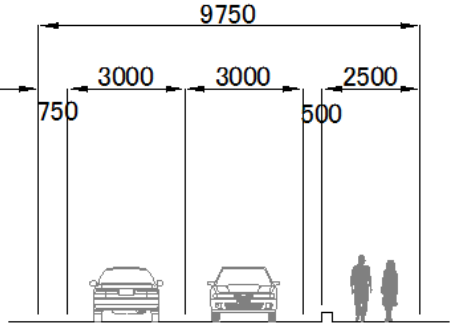
(8)周辺アクセス道路（道路幅員、交差点等）



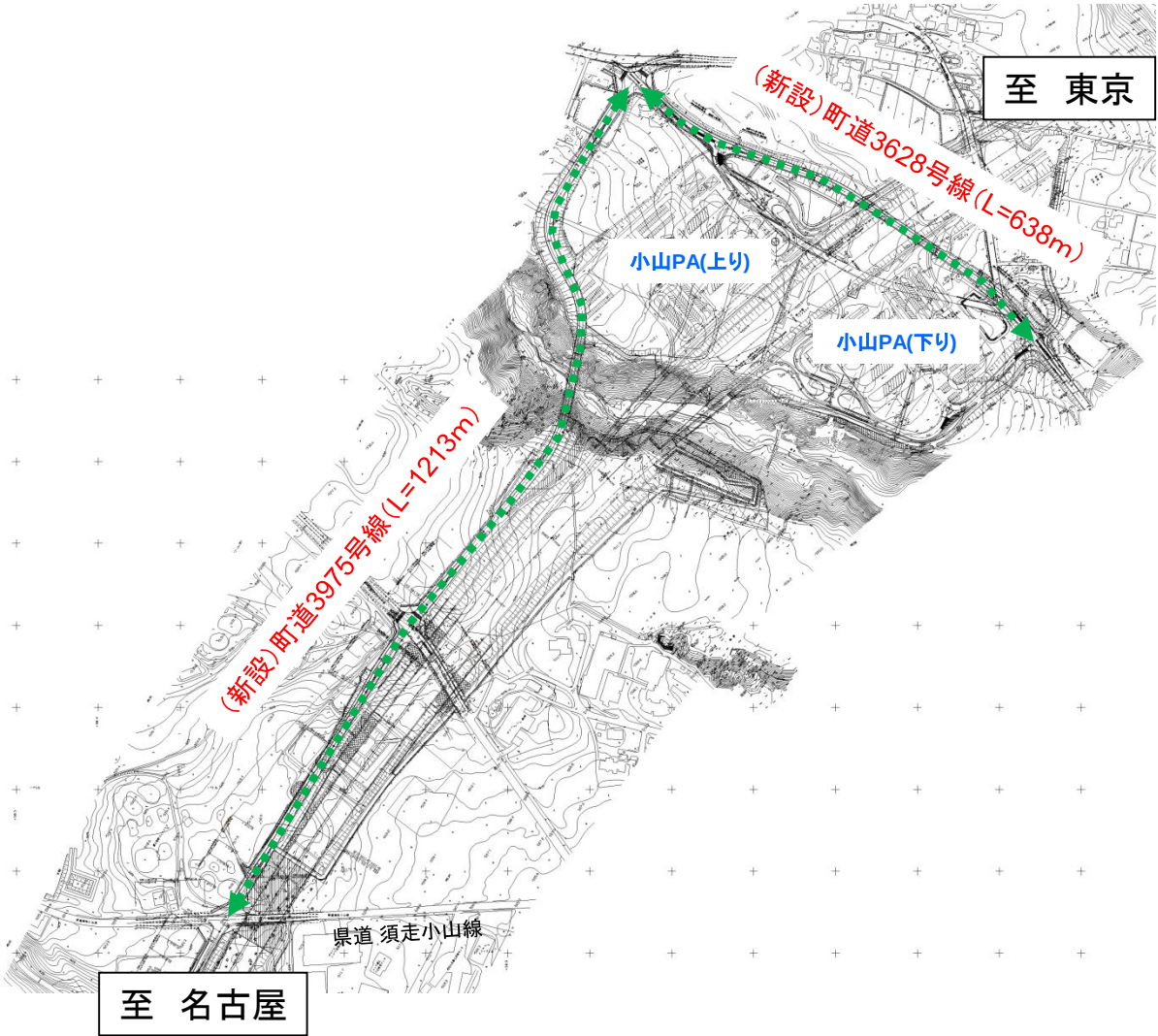
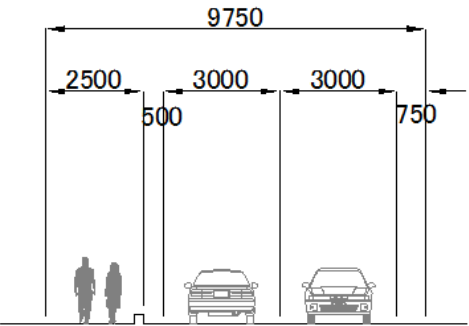
11. 参考資料、その他必要な資料

(9) 周辺道路状況

町道3628号線



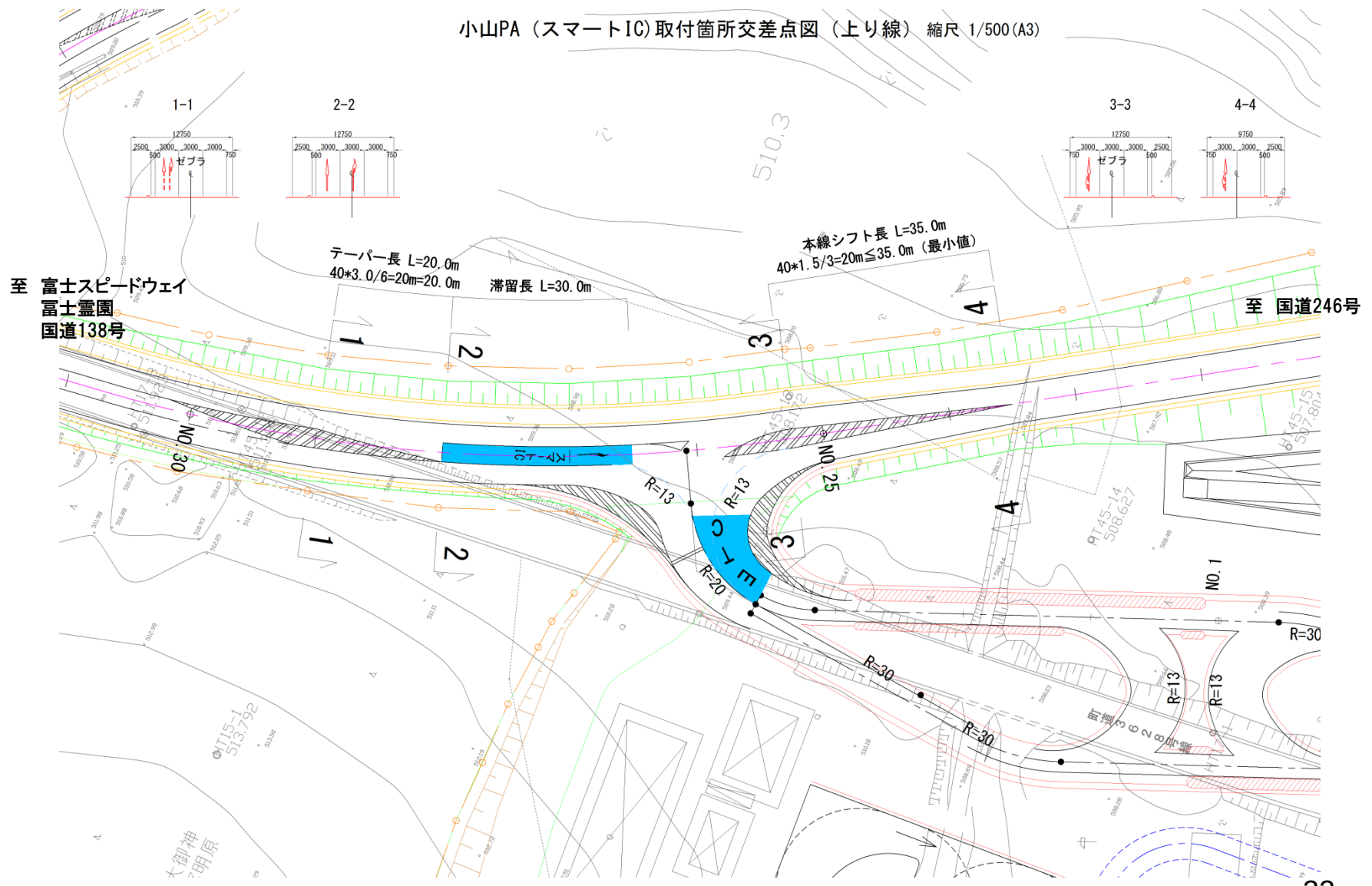
町道3975号線



11. 参考資料、その他必要な資料

(10) 接続交差点計画図

町道3628号線 × 上り線ランプ交差点(上り線側)



11. 参考資料、その他必要な資料

(11)事業工程表

